

2020年度 須磨学園夙川高等学校入学試験

国 語

(注 意)

解答用紙は、この問題冊子の中央にはさんであります。まず、解答用紙を取り出して、
受験番号を記入しなさい。

1. すべての問題を解答しなさい。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験終了後、解答用紙のみ提出し、問題冊子は持ち帰りなさい。

学校法人 須磨学園 夙川高等学校



※この冊子は再生紙・ベジタブルインクを使用しています。

一 次は、〇〇高校に入学したばかりの生徒A、Cが、放課後に話し合いをしている場面である。【会話文】を読み、次のページの【資料】「気象警報発表時の措置」を参考にしながら、後の設問に答えなさい。

【会話文】

生徒A もうすぐ台風が来そうなので、生徒手帳でどういう動きになるか確認しておきましょう。

生徒B 帰りのホームルームで、担任の先生も、あらかじめ生徒手帳をよく読んでおくようにと、おっしゃっていましたね。

生徒C 台風が来た時の対応については、「気象警報発表時の措置」に書かれていますね。実際に、「平常授業」「定期考査期間中」「生徒の居住地に警報が発表されている場合」と詳しく分けられています。

生徒B とりあえず、明日は普通の授業だから、(1)を見ればいいですね。学校の始まりが八時三〇分で、私は学校まで一時間かかるから、だいたい朝七時に起きているのだけれど、もしその時点でK市に警報が発表されていた場合、とりあえず、私は ① になるのでしょうか。

生徒A そうですね。それで、九時三〇分に警報が解除された場合、 ② ということになるのでしょうか。

生徒C ただし、それらの対応は、前提として、 ③ 場合ですよね。天気予報を見ても、注意報はときどき出るけれど、警報が出ることはあまりないから。

生徒A 私が住んでいるのは、雪がたくさん降る地域だから、中学校の時は、よく学校が臨時休校になっていました。高校ではそういう時は、どうなるのでしょうか。

生徒B 「気象警報発表時の措置」をきちんと読む限りでは、おそらく ④ でなければ、原則は ⑤ でしょうね。

生徒A 最近は大い台風で全国的に深刻な被害も出ているし、事前にしっかり準備をしておくことが大切だと思います。

一の設問

問一 【会話文】の ① ・ ② に入ることばとして最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 自宅待機
- 2 10時40分から授業
- 3 13時30分から授業
- 4 臨時休校

問二 【会話文】の ③ に入ることばとして最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 いつも通りの平常授業をしている
- 2 定期考査期間中である
- 3 K市には警報が発表されていない
- 4 生徒の居住地に警報が発表されていない

問三 【会話文】の ④ に入る適当なことばを【資料】「気象警報発表時の措置」から抜き出して書きなさい。

問四 【会話文】の ⑤ に入ることばとして最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 自宅待機
- 2 臨時休校
- 3 時間を繰り下げて授業
- 4 臨時休校にはならない

問五 午前七時に、生徒Aの居住地に暴風警報が出ており、K市には警報が発表されていない場合、生徒Aはどのように対応したらよいか。最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 保護者の判断で安全を確認し、随時登校
- 2 学校に連絡し登校を見合わせ、自宅待機
- 3 いつも通り登校する
- 4 学校に欠席連絡を入れる

問六 十月十五日、十八日までの定期考査期間中、十六日に大雨警報が発表され、臨時休校となった。この日の試験科目は何日に実施されるか。算用数字(1・2・…)で書きなさい。

「気象警報発表時の措置」

学校の所在地であるK市に「暴風警報」・「大雨警報」・「洪水警報」・「特別警報」のいずれかが発表された場合は、原則、以下の対応を行う。

(1) 平常授業の場合。

気象警報の発表状況		対 応
平 日	午前6時現在、発表中	生徒は全員、自宅待機
	午前8時までに解除	10時40分から授業
	午前10時までに解除	13時30分から授業
	午前10時現在、発表中	臨時休校

(2) 定期考査期間中の場合。

気象警報の発表状況		対 応
平 日	午前6時現在、発表中	生徒は全員、自宅待機
	午前10時までに解除	13時から考査開始
	午前10時現在、発表中	臨時休校（自宅学習）

※臨時休校となった場合、その日の試験科目は、原則、翌日に実施する。

(3) K市には警報発表がなく、生徒の居住地に警報が発表されている場合。

気象警報の発表状況		対 応
平 日	午前6時現在、発表中	学校に連絡し登校を見合わせ、自宅待機
	正午までに解除	安全を確認し、随時登校
	正午現在、発表中	自宅学習

(4) 左記の警報が出ていない市町でも、地域的な大雨や河川の氾濫、土砂災害警戒情報などにより登校することが危険であると保護者が判断した場合、あるいは交通機関が不通となっているようなときは、しばらく自宅待機をして様子を見る。その際、必ず保護者から担任または学校に連絡をする。

(5) なお、生徒の安全確保を最優先に考えたうえで、学校が気象状況を判断し、上記とは異なる臨機応変な対応をとる場合があるので、いつでも学校からの連絡が受けられるようにしておく。

(6) 授業中に警報が発表された場合は、随時適切な対応を行う。

二 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

実験条件を単純^aにするだけでなく、データ^Aをできるだけシンプ
ルに考える、というのも科学者の考え方^bのトク^cチヨウ^cのひと
つで、非常に重要なことです。あることを説明する時に、いろ
いろな可能性が考えられる場合があります。そういった場合
に、とりあえず、最短距離にシンプルに説明しておこうという
態度です。あれやこれやとこねくり回して考えて訳がわからな
くなるよりは、使い物になりそうな作業仮説^cをサイヨウ^cしてお
きましょう、ということなのです。

(ア) こういった、できるだけ単純に考えるやり方は「オッ
カムのカミソリ」と呼ばれることもあって、広辞苑^{こうじえん}には「ある
事象を説明する際に『必然性なしに多くのものを定立してはな
らない』という原則」と説明してあります。14世紀の哲学者で
あるオッカムにちなんだ名前ですが、カミソリというのが、い
かにも【①】感じがしてかつこいいですね。かのアルバー
ト・アインシュタインも、「物事はできるだけ単純にすべきで
ある」と語っています。ただし、もう一言、「しかし単純すぎ
ずに」という言葉を付け加えています。さすがは天才、なか
な^{かんちく}か含蓄^{かんちく}があります。

(イ) もうひとつ大事なことは、いくつものことを同時に考
えてしまわない、ということなのです。これは簡単のように見え
て、けっこう難しいものです。ほとんどの物事はいくつもの要
素に分けることができます。ちよつとおかしな例かもしれませ
んが、美人とかハンサムな人の顔を判断する時に、各パーツで
ある、目、鼻、口、耳、などの要素に分けて、それぞれがどの
くらい良いか悪いかということを吟味することによって、おお
よその判断をすることができは^ずです。

(ウ) だから、まず、ひとつひとつの要素を吟味して考えて
みるのが大事なのです。全体を考えるのは、その要素の吟味が
終わってからで十分です。実験をするときは、できるだけ条件
を一定にする、と言いましたが、そうすることによって、考え
なければなら^ない要素をできるだけ減らしている、という言い
方もできるのです。

(エ) ただし、難しいのは、【全体は部分の総和ではない】と
言われることもあるように、要素を吟味しただけですべてのこ
とがわかるとは限らないことです。美人とハンサムの例でい
うと、各パーツの並び方もかなり重要になる、というようにたと
えられることができるでしょうか。このあたりになると、各
パーツの単純な評価よりも、かなり高度になってきて、科学者
の腕の見せ所ということができるかもしれません。

物理を専門にしておられて、科学史についてすばらしい本を

何冊も書いておられる山本義隆さんは、何のために勉強するの
ですかと尋ねられて「自分の頭で考え、自分の言葉で自分の意
見を言う。ただそのただけに勉強するのです」と答えられま
した。これは、勉強^Dだけでなく、科学という言葉にも、びつた
りとあてはまります。

芸術だと、ああすばらしいと感動しても、うまく言葉であら
わせないことがあるでしょう。しかし、科学は違います。科学
というのは、具体的に、言葉で確実に伝えることができなけれ
ばなりません。そのためには、普段から自分でしっかりと具体
的に考えて、正しく言語化しておく必要があるのです。

ある実験でAとBが生じる率を調べた場合を考えてみましょ
う。その結果を見て、いろいろな記述の仕方が可能です。ごく
普通に、Aの方がBよりおこりやすい、という書き方ができま
す。しかし、これだけでは、どれくらいおこりやすいのかわかり
ません。Aの方がBよりも5%おこりやすかった、という^Eと、
少し詳しくなります。しかし、これでも十分ではありません。

Aが95%、Bが90%の率でおこる場合であっても、Aが
20%、Bが15%の率でおこる場合であっても、もつと極端な場
合はAが5%でBが0%の場合であっても、Aの方がBよりも
5%おこりやすかった、ということになるのです。これら三つ
の場合では、どれもが5%の違いといっても、印象がずいぶん
と違うはず^ずです。

何がいいかと言うと、きちんとした元のデータから考え
ないといけない、ということです。そうでないと、とんでもな
い勘違いをしてしまうことがあるし、誤って伝えてしまうこと
があるのです。すぐくちがいます、とか、わりと大きいです、
とかいう判断や言い方ではダメなわけです。『わりと』が付
けばカラスも白い」という言葉があります。ちよつと白っぽく見
えるカラスがいたら、こういう言い方は十分可能です。でも、
これは、決してそのカラスが白いことをあらわすのではありま
せん。そうならないように、【X】に、できれば【Y】
に考えて伝えることが大事なのです。

(仲野徹『科学者の考え方』による)

二の設問

問一 「データをできるだけシンプルに考える」(――線部A)とあるが、なぜそうすることが必要だと筆者は言っているか。次の中から間違っているものを一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 あれやこれやと考えてしまい、混乱するから。
- 2 いろいろな可能性が出てきてしまうから。
- 3 単純であればあるほど、いい結果が出るから。
- 4 使い物にならないデータに振り回されるから。

問二 【①】に当てはまるものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 無意味なことに価値を見出す^{みいだ}
- 2 必要なものを残らず拾う
- 3 無駄なことをそぎ落とす
- 4 細かく切り刻んで分ける

問三 「いくつものことを同時に考えてしまわない」(――線部B)とあるが、どのようにするのがよいと言っているか。本文中から十九字で書き抜きなさい。

問四 「全体は部分の総和ではない」(――線部C)とあるが、例として挙げられている「美人とハンサムの例」の説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 各パーツが良くても、各パーツの並び方が悪いと美人とは言えない。
- 2 各パーツが悪いと、どれだけ全体が良くても美人とは言えない。
- 3 各パーツが良くても、大体の場合は並び方が悪く美人とは言えない。
- 4 各パーツが悪いと、それだけで全体を見てもらうことはできない。

問五 「これは、勉強だけでなく、科学という言葉にも、ぴったりとあてはまります」(――線部D)とあるが、「科学」の場合どうあてはまるか。本文の内容をふまえて、最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 素早く物事をとらえて、他の意見に負けないように自己主張できること。
- 2 正確に物事をとらえて、確実に相手に伝えることができるようにすること。
- 3 自分の考えを持ち、正しい表現で相手の心を動かす発言ができること。
- 4 状況判断をして、幅を持たせた意見を常に持ち続けるようにすること。

問六 「これでも十分ではありません」(――線部E)とあるが、十分ではない理由として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 「Aが5%、Bが0%の率でおこる」と伝えても、「Aが95%、Bが90%の率でおこる」でも、あまり差はないから。
- 2 「Aの方がBよりも5%おこりやすかった」では、元のデータを示していないので勘違いをしてしまうことがあるから。
- 3 「Aが95%、Bが90%の率でおこる」とできるだけ%を高くして説明する方が、伝える側により印象を与えるから。
- 4 「Aの方がBよりも5%おこりやすかった」では、5%がどういう状態でおこりやすいのかがわかりにくいから。

問七 本文には次の一文が抜けている。その一文は本文中の(ア)～(エ)のどこに入るか。最も適当な箇所を一つ選び、記号で答えなさい。

人間の頭というのは、たくさんのことを一度に考えるほどうまく作られてはいません。

問八 「X」と「Y」に入る言葉の組み合わせで最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- | | | | | |
|---|---|-----|---|-----|
| 1 | X | 具体的 | Y | 数值的 |
| 2 | X | 客観的 | Y | 必然的 |
| 3 | X | 具体的 | Y | 必然的 |
| 4 | X | 主観的 | Y | 数值的 |

問九 ～～～線部a「単純」の対義語を漢字二字で答えなさい。

問十 ～～～線部b・cのカタカナを漢字に直しなさい。

三

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

「おめさんは、なにようしてくれただ」

久しぶりに訪ねた写真館で、僕の姿を認めると、老人はまるで詰め寄るような口調で言った。最近では使う人の少なくなった方言でそんなふうに、いきなり言われたので、思わず身構えた。

何も答えられないでいると、老人は大きく息を一回吸ってから、^A「まあ、とりあえず座れや」

と乱暴に言って、奥に消えていった。

逃げ去りたい気分だった。でも、黙って帰るわけにはいかない。何度も座ったことのある、テーブルの脇に置かれた椅子に座った。テーブルの向こうには丸い石油ストーブがひとつあって、オレンジ色の細い炎がその小さな窓から覗いていた。

西日が扉のガラスを通して壁に届き、一枚の写真の半分を正面から照らしていた。額の一片が鋭く反射している。よく見ると、白鳥が水面から飛び立つ瞬間をとらえたものだった。日の当たった部分と当たっていない部分のコントラストがやはり死を連想させた。

冬になれば毎年シベリアから越冬のために諏訪湖^{注2}にやってくる白鳥たちを撮ったもののはずだ。盆地^{注3}のアマチュアカメラマンは冬になれば必ずというほど、その姿を追う。誰が撮った写真なのだろうか。老人か、それともお店のお客さんだろうか。居心地が悪いまま、そんなことをぼんやりと考えた。

やがて、老人がいつものようにコーヒークップを二つ、トレーに載せて現れた。僕は再び、背筋を伸ばした。

「松本に行ってきたすら」

「はい……」

「おめさんは、木綿子^{ゆづこ}になよう言っただ？」

「……………」

^B「とんでもねえことを、言っつら？」

何について老人が腹を立てているのかは、わかっていた。

この人はいまここで真剣に怒っている。背中あたりをざわざわと風が吹きぬけていった。

「すみませんでした」

僕は大きく頭を下げた。

「……木綿子の母親があの日の方方に行くと、目を腫^はらしていたちゅうで、聞いたしたら、おめさんの名前を口にしただ。でも木綿子はそれ以上、何も言わなかったらしい。だで、おめさんが木綿子になんちゅうったかは、おらあも、誰も知らねえけども、おめさんがなんかを言っつらで……」

「……………」

「そりゃあ、高校生には高校生にしかわからん、会話だってあるら、そりゃわかる。でも木綿子は病人だぞ、とにかく悲しませなんでくりよ」

老人はぷつぷりと黙った。肩が小さく上下していた。懸命さに不意に胸を打たれた。同時にどういいうわけか、老人の姿^Cを痛々しいと感じた。コーヒークップに伸びたその手が小さく震えていた。

「ごめんなさい。来年の春、僕らは何をしているのかなって……そんな余計なことを言ってしまいました……」

僕はもう一度、頭を下げた。

老人は小さくうなずき、それ以上言葉を重ねることも、問いただすことも、責めることもなかった。僕らはそのかわりのように、向かい合って黙ってコーヒークップを啜^{すす}った。

もしお客さんがやって来て、僕らの姿を目にしたとしたら、世代の違う二人がただ穏やかにコーヒークップを飲みながら向かい合っているように見えるだろう。

僕は「①」が苦しくて、おそろおそろ西日を浴びている白鳥の写真について訊^{たず}ねた。

「あの写真は誰が撮ったのですか？」

「あれか。俺だ。俺が撮った写真だ」

「いい写真ですね」

「そんなお世辞^{せじ}はいらんで」

老人は、表情を変えなかった。

「白鳥にとっちゃ、諏訪の冬は暖かいだで」

「はあ……」

^D「もつと寒い国から来る白鳥にとっちゃ、諏訪の冬は春みたいなもんだで」

老人は僕の目を、ぐっと見た。何かを言いたげだった。

「また来てもいいですか？」

思い切って口にした。老人はちよつと驚いたようだった。

「ああ、またいつでも来い」

老人は困ったような笑顔を見せたあとで、静かに呟^{つぶや}いた。

電車のシートにもたれてみると、いろいろなことが頭を駆け巡った。

多くはあの日宮坂木綿子のことだった。ついさっきの老人との会話についても考えた。老人は僕のことをどんなふうに思っているのだろうか。なぜ、最後まで問いただすことをしなかったのだろうか。それは優しさだろうか、それともあきらめだろうか。

秋が終わり冬を迎え、やがて春が来れば、自分はいったいどこで何をしているのだろうか。あと半年後に自分がどこにいて、どんな空気を吸って、何を見ているのか、まるでわからない。でも、不安などない。とにかく根拠もないまま「春」という響きがとても明るく、頼もしいものに感じられた。では宮坂木綿子の「春」はどんなものだろうか。少なくとも「②」はずがない。「春」と宮坂木綿子の関係について、何度も何度も考えた。

ふと宮坂木綿子がベッドの上で呟いた言葉がよみがえった。

「ずんずん行ける人には、ずんずんどこまでも行ってもらいたい」

^E宮坂木綿子は僕にそう言った。

「ずんずん」

呟いてみた。

（小林紀晴『十七歳』による）

注1 コントラスト… 対比。

注2 諏訪湖……………長野県にある湖。

注3 アマチュア……………職業とせず趣味としてたずさわっている人。

三の設問

問一 「①」に入る語句として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 呼吸 2 反射 3 沈黙 4 想像

問二 「②」に入る形容詞を本文中から四字で抜き出しなさい。

問三 「老人は大きく息を一回吸ってから」(——線部A)とあるが、なぜ老人は大きく息を吸ったのか。その理由として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 自分の気持ちを落ち着かせるため。
2 相手の攻撃に反撃する準備のため。
3 相手の言葉にとまどいを感じたため。
4 勢いをつけて話の続きをするため。

問四 「何について老人が腹を立てているのかは、わかっていた」(——線部B)とあるが、老人は何について腹を立てていたのか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 「僕」が病院を何回も訪ねて木綿子を困らせたこと。
2 病人の木綿子を悲しませる何かを「僕」が言ったこと。
3 長い間訪ねなかった写真館を、突然一人で訪ねたこと。
4 白鳥の写真を撮ったのが老人だと気づかなかったこと。

問五 「老人の姿」(——線部C)とあるが、どういう姿だと「僕」は思っているか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 苦しい息の中でなぜそんなに懸命に話すのか、不思議な姿だと思っている。
2 病氣の木綿子の悲しみを懸命に伝えることしかできない、痛ましい姿だと思っている。
3 訳も分からないまま、ただ感情に任せて怒っている、さびしい姿だと思っている。
4 冬の寒い中で懸命に白鳥を追う写真を撮ろうとする、無謀な姿だと思っている。

問六 「もっと寒い国から来る白鳥にとっちゃ、諏訪の冬は春みたいなもんだで」(——線部D)とあるが、老人はこの言葉を通して何を伝えようとしているか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

1 冬の寒さの中で白鳥の写真を撮ることを生きがいにしている人もいれば、寒い冬にじっと耐えている人もいるように、僕の生き方も木綿子の生き方もどちらも人生であると僕に伝えようとしている。

2 諏訪の冬を厳しいと感じるか、暖かい春のようだと感じるかは人によって違うが、人間も白鳥のような感性を身につければ、厳しい寒さも暖かいと感じられることを僕に伝えようとしている。

3 白鳥は厳しい冬を暖かい春と勘違いして渡ってくるが、人間は白鳥とは感性が違うのだから、厳しい冬を白鳥と同じように捉えられないのは仕方ないことだと僕に伝えようとしている。

4 冬の寒さを厳しいと感じて暖かい春を待ち望んでいる人間もいるが、木綿子のように病氣と闘い懸命に生きている人間にとっては、冬の一日一日がいとおいしいことを僕に伝えようとしている。

問七 「『ずんずん』呟いてみた」(——線部E)とあるが、この時の「僕」の心情として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

1 僕は「ずんずん」前に向かって行けるだろうが、木綿子は「ずんずん」という言葉をどのような気持ちで言ったのかを分かつようとしている。

2 僕は「ずんずん」などという言葉を使ったことはないが、なぜ木綿子がこの言葉を知っていたのかを分かつようとしている。

3 半年後に「ずんずん」歩いている自分を想像して、木綿子が一緒に歩くと約束してくれなかったのはなぜかを分かつようとしている。

4 秋冬春と僕はどこまでも「ずんずん」歩いていくつもりだが、木綿子はどの季節の中を歩きたいと思っているのかを分かつようとしている。

四

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

ゆく川の流^イれは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。よ

どみに浮^{注1}ぶうたかたは、かつ消え、かつ結^ロびて、久しくとどま
同じ状態であり

りたる例^{ためし}なし。世の中にある、人と栖^{すみか}と、またかくのごとし。
A

続^{つづ}ける
ちようにこのようである

たましきの都の内に、棟^{むね}を並べ、薨^{注3}を争へる、高^{タカ}き、いやし
B

き人の住^{すま}ひは、世々を経て尽きせぬ物なれど、これをまことか
何代たつてもなくならない 本^{ほん}当^{どう}に^{よう}な^なのか

と尋ねれば、昔ありし家はまれなり。或は去年焼けて今年作れ
と氣^{いき}をつけ^{つけ}見る

り。或は大家滅^{おほいへ}びて小家^{こいへ}となる。住む人もこれに同じ。所も変

らず、人も多かれど、いにしへ見し人は、二三十人が中に、わ

づかにひとりふたりなり。朝^{あした}に死に、夕^{ゆふべ}に生まるるならひ、た

だ水の泡^{あわ}にぞ似^にたりける。不知^{しらず}、生れ死ぬる人、何方^{いづかた}より来た

りて、何方へか去る。また不知^{注4}、仮^{かり}の宿り、誰^たが為^{ため}にか心を悩^{なや}
苦しめて作

まし、何によりてか目を喜ばしむる。その、主^{あるじ}と栖^{すみ}と、無常を
ろうとし 何のために自分の住居を見て喜ぶのであるか

争ふさま、いはば、朝顔の露に異ならず。或は露落ちて花残れ
同じである

り。残るといへども、朝日に枯れぬ。或は花しほみて露なほ消

えず。消えずといへども、夕^{ゆふべ}を待つ事なし。
D
その夕方まで残っているとはない

（新潮日本古典集成『方丈記』による）

注1 うたかた……………水の泡。

注2 たましきの都…玉を敷きつめたような美しい都。

注3 薨を争へる……………屋根の高さを競っている。「薨」はか
わらぶきの屋根。

注4 仮の宿り……………人間にとって仮住居でしかない家。

四の設問

問一 『方丈記』の作者を次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- | | |
|--------|--------|
| 1 兼好法師 | 2 清少納言 |
| 3 紫式部 | 4 鴨長明 |

問二 「ゆく」(~~~~~線部イ)、「結び」(~~~~~線部ロ)、「なる」(~~~~~線部ハ)の活用形を次の中からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1 未然形 | 2 連用形 | 3 終止形 |
| 4 連体形 | 5 已然形 | 6 命令形 |

問三 「かく」(——線部A)の意味する内容と異なるものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 人々が住む場所はしばらくすると変わること。
- 川の流^いれは一つになったり分かれたりすること。
- 川の流^いれはとどまらず同じ水が流^いれないこと。
- 川の水の泡^あができたり消えたりすること。

問四 「高き」(——線部B)の意味として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- | | |
|---------|---------|
| 1 背が高い | 2 身分が高い |
| 3 屋根が高い | 4 価値が高い |

問五 「似たりける」(——線部C)という文末表現は本来、「似たりけり」であるが、どういう法則によって「似たりける」となっているかを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- | | | | |
|--------|--------|-------|------|
| 1 係り結び | 2 体言止め | 3 倒置法 | 4 暗喩 |
|--------|--------|-------|------|

問六 「夕を待つ事なし」(——線部D)の主語として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- | | | | |
|------|-----|-----|------|
| 1 朝顔 | 2 露 | 3 花 | 4 朝日 |
|------|-----|-----|------|

問七 本文の内容に合うものとして最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 花の露は花がしほんでも残るように、人は移り住んでも、家や屋敷は残ること。
- 川の水は同じ場所で流れ続けるのだから、時間が流れても川自体は変わらないこと。
- 以前から住んでいる人や景色は変わることなく、家の大小だけが変わるということ。
- 花や朝露がずっと残ることがないように、世の中のあるものは移ろいやすいということ。



受 験 番 号

[illegible]

受 験 番 号		

—

[illegible]

(※の欄には、何も記入してはいけません)

※	※	※	※	※	※
問六	問五	問四	問三	問二	問一
					①
					②

(※の欄には、何も記入してはいけません)



※	※	※	※	※	※	
問七	問六	問五	問四	問三	問二	
					ハ	イ
						ロ

(※の欄には、何も記入してはいけません)

※	問	
---	---	--

四

※	※	※	※	※
問六	問四	問三	問二	問一
問七	問五			

(※の欄には、何も記入してはいけません)

三



5